

師走の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げる次第です。

さて十一月十二日は、日本会議宮崎県央支部設立及び九州ブロック会議宮崎大会を盛大に開催し、約二百名もの同志が九州各地より清武町文化会館に集いました。

当支部からご参加賜った会員の皆様には、本紙を借りて厚く御礼申し上げます。

また翌日は日本晴れの下、第四十三普通科連隊創立四十九周年記念行事が都城駐屯地に於いて開催され、威風堂々のパレードや迫真の模擬戦、そして中隊対抗リレー等の運動会で大いに盛り上がり、誠に愉快な一日を過ごす事が出来ました。

ところで先月九州・沖縄方面での「南西防衛強化」と「動的防衛力」を目的とする統合演習が実施され、昨年の新防衛大綱に基づき島嶼防衛を含む陸海空の統合運用能力の向上を計る為、陸海空自衛隊の三万五千人と車両一千三百両、艦艇六隻のほか多数の航空機が参加した事はご存じの通りです。

機動展開のため、北海道から初めて九〇式戦車などを民間フェリーで九州に輸送、地对艦ミサイル(陸自)とペトリオット地对空ミサイル(空自)を奄美大島に展開し、新聞やテレビ報道等で大きな話題となりました。

最大の目的は、北海道の本格的地上部隊を迅速に南西諸島方面に展開できる能力を示し、周辺で活発化しつつある中国の軍事的行動を牽制する事ですが、しかし、それ以外にもこの統合演習にはいくつもの隠された狙いがあることを国民として考えねばなりません。(軍事アナリスト・小川和久氏のメールより抜粋)

その第一は、北海道の部隊を九州に戦略機動させる事により、逆に西日本からも部隊を北海道に迅速に展開できる能力を示し、北方領土で増強中のロシア軍を牽制するというものであり、第二は、宮古水道(幅三五〇km)を両側から地对艦ミサイル(射程二百km)の射程圏内に置くシフトにより、中国海軍の行動を抑制する狙いです。

そして第三は、船舶と鉄道を使った部隊と危険物の輸送に関する様々な法的制約について、現状で克服できる方策がないか検証し、場合によっては法制度の改正を求めするための材料を集める狙いです。

防衛計画の大綱が打ち出した動的防衛力は、適正規模にほど遠い自衛隊の現状を運用でカバーしようとする知恵の産物ですが、当然乍ら貴重な税金を使う大規模演習を、一つや二つの限定された目的の為に実施するはずはありません。

日本に限らず、軍事的な動きには必ず多くの目的が秘められていますので、それを見抜く眼力を磨き乍ら、日本の安全を高めるための健全な世論を創り出していく為に、来年も一緒に智恵と汗を大いに流して戴ければ幸甚に存じます。

年末を控え、呉々も事故など無きよう、ご家中お揃いで何卒佳い年をお迎え下さい。

平成二十三年十二月一日

宮崎県防衛協会

青年部会

宮崎支部長

小倉和彦

